

該当する事項以外
は二重線で消す。

記入例

特定施設設置~~（使用、変更）~~届出書

年 月 日

高崎市長

届出者が法人の場合は、本店の名称、所在地及び代表者の氏名を記入する。

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名
届出者前橋市大手町 1－〇－1
群馬工業株式会社
代表取締役 高崎太郎

ダイオキシン類対策特別措置法第12条第1項（第13条第1項又は第2項、第14条第1項）の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	群馬工業株式会社高崎工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	高崎市高松町 1－〇	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	(大気基準適用施設) 5 廃棄物焼却炉 1 基 (水質基準適用施設) 1 5 イ 廃ガス洗浄施設 1 基	※施設番号	
△特定施設の構造	大気基準適用施設にあっては別紙 1、水質基準対象施設にあっては別紙 4 のとおり。	※審査結果	
△特定施設の使用の方法	大気基準適用施設にあっては別紙 2、水質基準対象施設にあっては別紙 5 のとおり。	※備考 網掛け部分は記入不要	
△発生ガス又は汚水若しくは廃液の処理の方法	大気基準適用施設にあっては別紙 3、水質基準対象施設にあっては別紙 6 のとおり。		

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、大気基準適用施設にあってはダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第 1、水質基準対象施設にあっては同令別表第 2 に掲げる号番号及び名称を記載すること。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。

工場又は事業場における施設番号		No. 1	
特定施設号番号及び名称		5 廃棄物焼却炉	
型 式		〇〇〇型	
施設の設置場所		別紙のとおり	
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日		平成 2 0 年 6 月 2 0 日	年 月 日
工事完成予定年月日		平成 2 0 年 7 月 1 日	年 月 日
使用開始予定年月日		平成 2 0 年 7 月 2 日	年 月 日
規 模	原料の処理能力（t/h）		
	変圧器の定格容量（KVA）		
	炉の容量（t）		
	焼却能力（kg/h）	8 0 kg/h	
	火床面積（m ² ）	2. 2 m ²	
その他参考となるべき事項			

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、令別表第 1 に掲げる施設に係る項目について記載すること。
- 3 特定施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付のこと。

(変更届で変更がある場合)
変更前と変更後のものを記入

特定施設（大気基準適用施設）の使用状況

工場又は事業場における施設番号		No. 1			
使用状況	1日当たりの使用時間及び月使用日数等	9時～ 17時 20日/月		時～ 時 日/月	
	季節変動	なし			
原料及び燃料(ダイオキシン類の発生に影響のあるものに限る。)	種 類	紙くず、雑芥物			
	使用割合	紙くず90%、雑芥物10%			
	原料又は燃料中の塩素分の成分割合(%)				
	1日の使用量	紙くず200kg 雑芥物15kg			
排出ガス量 (m ³ /h)		通常	最大	通常	最大
		1, 560	1, 290		
排出ガス温度 (°C)		200°C			
排出ガス中の酸素濃度 (%)		17%			
排出ガス中のダイオキシン類の濃度 (ng-TEQ/m ³)		通常	最大	通常	最大
		1	0.1		
その他参考となるべき事項					

- 備考 1 廃棄物焼却炉にあっては、種類の欄には、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くずその他の廃棄物の種類を、使用割合の欄には、廃棄物の種類ごとの焼却割合を記載すること。
- 2 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、排出ガス中のダイオキシン類の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
- 3 ダイオキシン類の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 その他参考となるべき事項の欄には、排出ガスの排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出ガス量の変動の状況を記載のこと。

(変更届で変更がある場合)
変更前と変更後のものを記入

工場又は事業場における施設番号	W- 1	
名称及び型式	サイクロン集じん機△△型	
発生ガスの処理の内容	冷却塔により、排出ガスを800℃から200℃に冷却する	
処理の系統	別紙のとおり	
施設の設置場所	別紙のとおり	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	平成20年 6月20日	年 月 日
工事完成予定年月日	平成20年 7月 1日	年 月 日
使用開始予定年月日	平成20年 7月 2日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 発生ガスの処理に係る施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

工場又は事業場における施設番号	W- 1	
特定施設号番号及び名称	1 5 イ 廃ガス洗浄施設	
型 式	〇〇式スクラバー	
構 造	洗浄塔	
主 要 寸 法	φ1300×15000mm	
能 力	廃ガス処理量 5,000m ³ /h	
配 置	別紙のとおり	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	平成20年 6月20日	年 月 日
工事完成予定年月日	平成20年 7月 1日	年 月 日
使用開始予定年月日	平成20年 7月 2日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

工場又は事業場における施設番号	W-1			
設置場所	別紙のとおり			
操業の系統	別紙のとおり			
使用時間間隔	8:00~17:00			
1日当たりの使用時間	9時間			
使用の季節的変動	なし			
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	苛性ソーダ 50kg/日			
汚水又は廃液の汚染状態	通常	最大	通常	最大
	ダイオキシン類 5pg-TEQ/l	ダイオキシン類 8pg-TEQ/l		
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大
	300	500		
その他参考となるべき事項				

(変更届で変更がある場合)
変更前と変更後のものを記入

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所		別紙のとおり							
設置年月日		年 月 日				年 月 日			
工事着手予定年月日		平成20年 6月20日				年 月 日			
工事完成予定年月日		平成20年 7月 1日				年 月 日			
使用開始予定年月日		平成20年 7月 2日				年 月 日			
種類及び型式		活性汚泥法							
構 造		コンクリート製							
主要寸法		10,000×6,500×5,000mm							
能 力		1000m ³ /日							
処理の方式		活性汚泥法							
処理の系統		別紙のとおり							
集水及び導水の方法		別紙のとおり							
使用時間間隔		0:00～24:00							
1日当たりの使用時間		24時間							
使用の季節変動		なし							
汚水等の汚染状態及び量		通 常		最 大		通 常		最 大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	5	1	8	2				
	量 (m ³ /日)	300	300	500	500				
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		汚泥 200kg (産業廃棄物として処理)							
消耗資材の1日当たりの用途別使用量		次亜塩素酸ナトリウム: 210kg/日 高分子凝集剤: 15kg/日							
排出水の排出方法		別紙のとおり							
その他参考となるべき事項									

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

届 出 参 考 事 項

I	業 種 (主要製品)		自動車部品製造業 (0000)				資 本 金		10,000千円				
	従 業 員 数	総 従 業 員		45人		電 話 番 号	本 社		027-224-0000				
		工場・事業場従業員		32人			工場・事業場		027-321-xxxx				
	面 積	敷 地		6400m ²		担 当 部 課 名 及び担当者	総務課 神田						
建 物 (延)		m ²											
II	ばい煙関係	施設 番号	使 用 時 間 等			燃 料		製造用 暖房用 その他 の別	処 理 施 設				
						種類	比重		使 用 量		種類	共用 の有無	台数
		時/日	日/月	日/年	日 (最大)			年					
III	騒音・振動	50m以内の学校・病院等			有 無		工場の主要 特 定 施 設						
		建 物 構 造	建 物 No.		1		2		3		4		
			建物内の主要施設										
			主 体 構 造										
			屋 根 構 造										
			外 壁 構 造										
			内 壁 構 造										
			窓										
空調の有無													
IV	操 業 時 間			7時00分～20時00分									
	公 害 関 係 届 出 該 当 事 項			ばい煙・粉じん・水質・騒音・振動・管理者・責任者・ダイオキシン類									
V	[案内図] (別添でもよい) 別添案内図のとおり												
VI	騒音・振動区域の区分		第	種	用途地域		メッシュコード [*]						

- 備考 1 I・IV及びVについては、必ず記入してください。
- 2 IIについては、ばい煙関係の届出の場合に記入してください。
- 3 IIIについては、騒音又は振動関係の届出の場合に記入してください。
- 4 VIについては、記入しないでください。